

八丈島

水産だより

9月号
2019年



和泉親水公園



夕暮れ時の神湊漁港

島では厳しい残暑が続いていますが、朝晩は涼しい日も増え、空も少しずつ秋めいてきています。8月23、24日には八丈島ジャズフェスティバルが開催されました。素敵な演奏が繰り広げられ、一足早く芸術の秋を味わうことができました。また、6月に田植えをした和泉親水公園の稲穂が少しずつ色づいてきています。新米と一緒に食べるおかずを何にしようかと考えるとこれからの季節が楽しみです！

■ 最近の漁模様 ~アオダイ(アオゼ)が好調!~

アオダイ(アオゼ)はフェダイ科の魚で、形や色は違いますがハマダイ(オナガ)やヒメダイ(オゴ)の仲間です。今年は好漁が続く、昨年同時期の漁獲量を大きく上回っています。キンメやオナガのような見た目の派手さはありませんが、味は絶品です！特に脂ののった秋口のアオダイは最高の贅沢です。今が旬のアオダイをぜひおためし下さい！

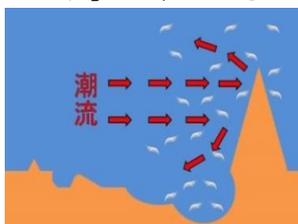


↑アオダイ(アオゼ)
(大きさ:30~40cm)



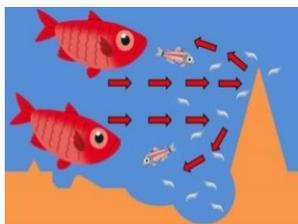
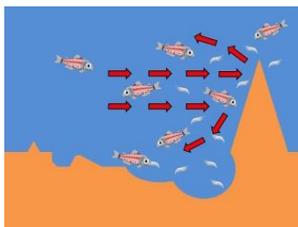
←アオダイ(アオゼ)
の刺身

■ 海のデコボコは魚の集会所?



←①海底の盛り上がった部分に潮流がぶつかりプランクトンがたまる。

②集まっているプランクトンを餌とする小魚が集まる。→



←③集まっている小魚を餌とする大型の魚が集まる。漁業者はこれらの魚を狙う。い漁場となっています。

陸に山や谷があるように、海底にも山や谷がありデコボコしています。このデコボコの海底地形は漁業と密接な関係にあります。海底の盛り上がった部分に潮流が当たると、プランクトンがたまります。そこにプランクトンを食べる小魚が集まり、さらにその小魚を食べる大型の魚が集まります。漁業者は集まった大型の魚を狙い、漁具を仕掛けます。八丈島周辺の海底地形は特に複雑であり、他県の漁船が来るほど良い漁場となっています。